

この企画は、春日町社会福祉協議会ボランティア活動支援補助金対象の事業です。

春日おやじの会

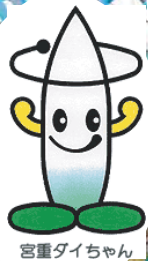
会長 川口和司

事務局（後藤博司）401-5667

携帯メール haruhi@freeml.com

URL <http://haruhioyajinokai.hp.infoseek.co.jp/>

田植え 参加者募集



宮重ダイちゃん



プログラム

- ①泥んこ遊び ②苗植え
- ③昼食会（バーベQ）

雨天決行（荒天延期）

予備日 6月21日（日）

日時

6月20日（土）

現地集合

10:00

（遅刻・早退可）

場所 春日町下之郷の田んぼ



参加費 1人200円（小学生以上）（未就学児 無料）

その他 小学生以下は保護者同伴をお願いします。



おやじの会では、今年も稲作（もち米）を企画しました。つきましては、参加者を募集しています。当日、現地へお集まりください。

※ご注意

- ◎お子様の安全には、保護者に於いてご留意願います。
- ◎他の田んぼへは、立入らないでください。

※お願い

- ☆子ども達におやじの田んぼで、十分に楽しんで貰います。各自必要な着替え、タオルなどをご用意ください。
- ☆水筒（飲料水）のご用意をお願いします。
- ☆その他必要と思われる物を各自ご用意ください。
- ☆ご不明な点など、事務局までお問い合わせください。

「自然の田んぼに生きるアメリカザリガニ」

■撮影者のコメント（服部敏子さん）

子供たちとの田植えも終わり、アメリカザリガニを手にとり、子供たちの笑顔が嬉しかった。

一環境川柳&フォトコンテスト2008—
環境フォト デジカメ・フィルム部門 優秀賞

■審査員（本間氏）のコメント

田植え終わりの、泥まみれの子供たちのさり気ない笑顔のスナップ写真ですが、今も昔も変わらない風景だと思いました。ザリガニを手にはしゃぐ子供たち。後ろの大人たちも、子供の頃同じような事を、していたのでは無いでしょうか？ 現在の子供、昔子供だった大人、そんな感覚に見えるほのぼのと思える作品です。

■審査員（森本氏）のコメント

子どもたちの表情に負けました。近所の田んぼ、田植え、ザリガニ、泥だらけの子どもたちの笑顔。どこにでもあった典型的な風景「でした」。あまりにも典型的なのにやはり引き付けられてしまうのは、子どもたちの屈託のない、それでいて自慢げな笑顔があるからだと思います。田んぼを含んだ「里やま」は、日本が世界に誇ることができる自然との付き合い方です。身近な自然を損なうことなく、自然の恵みを上手に得続けてきた日本人の知恵です。言い古されていますがやはり、この自然との付き合いと子どもたちの笑顔を、いつまでも残さなければと思います。それは今の時代を生きる大人の責務ではないでしょうか。

